

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2009年4月30日】

団体名 特定非営利活動法人文化学習協同ネットワーク

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現が「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

農業とベーカリーを組み合わせた青年自立支援プロジェクトの拡充プロジェクト

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

私たちの活動は不登校児のサポートから始まりました。彼らが成長するにつれ、癒しの期間を過ぎ社会参加できていく子ども達もたくさんいましたが、心の傷が癒えぬまま過度な競争関係にはどうしても入り込めない子ども達もいて、青年期になっても支援を続けなければならない現状があります。また社会参加に不安を感じる青年たちの相談が非常に多くなってきています。試行錯誤を経る中で、やはり本物の生産や流通現場の中で学び成長できる環境を作ろうと今日に至っています。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

現地の自治体の協力で借りている神奈川県津久井町の古民家と農地(すみか農場)を利用し、私たちの運営する東京三鷹市のベーカリー「風のすみか」の原料となる小麦や大豆などの農作物を生産し出荷します。そのような生産や流通の体験を通じて自己肯定感や他者との協力関係、社会に対する信頼感を育み青年たちの自立や社会参加を支援します。これまでも施行期間として、手作業での活動を行ってきましたが畑をより確保できる見通しも立ち、今回こちらの助成により少人数でも効率的に収穫できる農業器具のコンバインとパン用小麦の製粉機を導入して本格的で充実した青年支援プロジェクトに発展させました。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

コンバインは予算の関係上なるべく安く購入するため中古品を吟味しました。またメンテナンスのことも考慮し、若干高くても地元の農機具販売店を選びました。

コンバインを使った麦刈りの日は、研修生以外に麦刈り1日体験の一般参加者を三鷹で募集し、研修生と共に楽しい一日を過ごして、よいプログラムになったと思います。

コンバインが入ったことで本格的な農業の雰囲気が高まり、麦刈りだけでなく農業体験会や青年の農業研修全体が活気付きました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

青年研修生たちと麦刈りを行いました。やはりコンバインが導入されたことで本格的な農業の雰囲気が高まり、研修生たちの意欲もとても向上したと思います。手作業だけではやり切れない面積の麦刈りを、コンバインが入ったことで10人弱の研修生とスタッフでやりきることができ、その日のミーティングは大変盛り上がりました。またその後の乾燥作業なども、みんなで楽しく意気揚々とやれました。今までよりずっとグレードアップした農業体験にすることができ、とても感謝しています。今後もこういったご支援をぜひお願いしたいです。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

